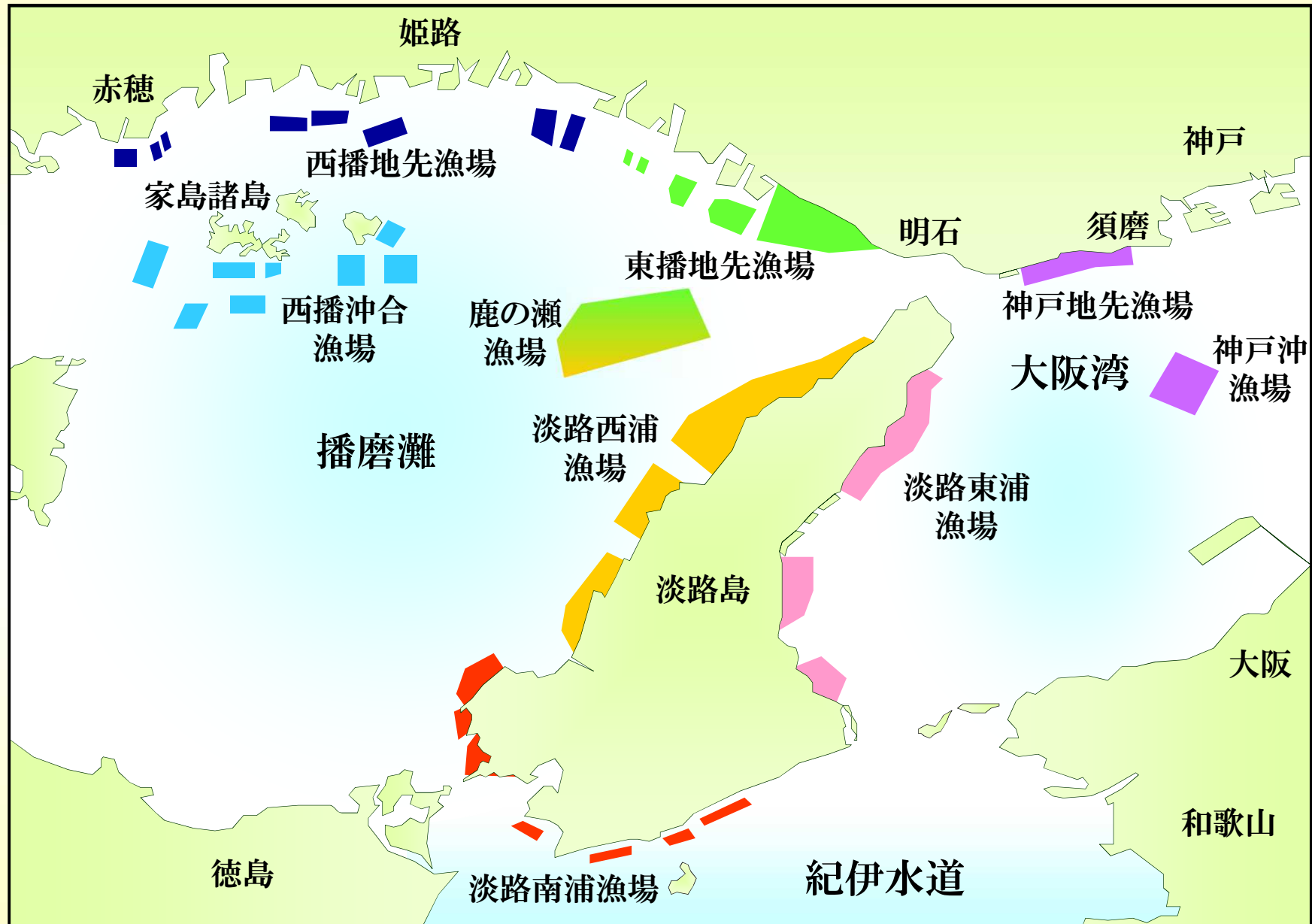


養殖ノリ現場調査計画(案)について

兵庫のり研究所 川崎周作



兵庫県のノリ養殖漁場



試験目的

●離脱量の把握が可能かどうか検証

ノリ葉体が干切れる要因

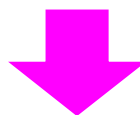
①風波によるもの

②摘採(刈り取り)時のもぐり船による刺激

③水温等の環境要因による生理障害によるもの

④壺状菌病等による病症害によるもの

離脱の要因は、これら複数あることや漁場・品種による成長差、漁場による環境・病虫害発生状況が異なる、芽付きによる収量差が生じることから、実際の離脱量の把握は難しいが・・・



R5年度は

葉体サンプリング・野帳記録・聞き取り調査により離脱量の把握が可能か検証を行う。

試験場所・期間

●試験場所

- 東播磨漁場 明石市江井ヶ島地先（区9号）

現場サンプリング調査・野帳記録

- 淡路島東部漁場 淡路市森地先（区120号）

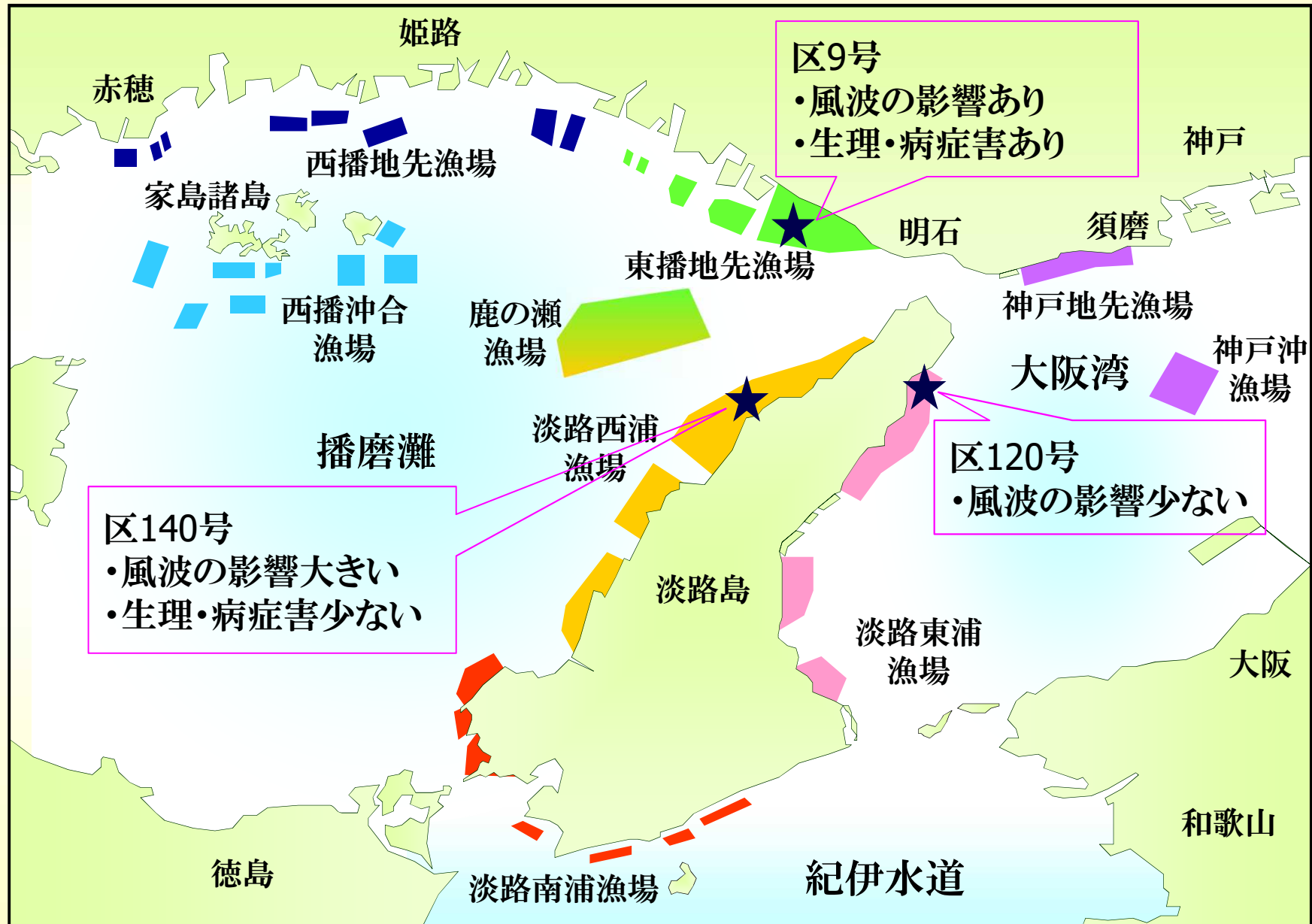
野帳記録

- 淡路島西部漁場 淡路市室津地先（区140号）

野帳記録

- 試験期間 令和5年12月～令和6年3月

試験場所及び特徴



試験項目

- ①ノリの成長量の把握
- ②風波による離脱量
- ③生理障害による離脱量
- ④病症害による離脱量

試験内容

①ノリの成長量の把握

【場所】 東播磨漁場（区9号）

【方法】 成長の良い網の摘採前後のノリ葉体をサンプリングし、重量測定による成長量把握を実施する。



試験内容

②風波による離脱量

【場所】 東播磨及び淡路島東西部

【方法】 漁業者に野帳（摘採日・漁場・摘採枚数・生産枚数・風波状況等）の記録を行って頂き、風波前後の生産枚数を比較する。
また、この野帳の補足として、東播磨漁場の風波前後の葉体をサンプリングし、重量測定による離脱量の推定を行う。

野帳様式

摘採日	漁場	摘採枚数	生産枚数	風波等
12月20日	A	100枚	20,000枚	
12月21日	B	100枚	30,000枚	
12月22日				風波のため休み
12月23日	C	100枚	15,000枚	風波後少ない
1月10日	A	100枚	100,000枚	
1月11日				風波のため休み
1月12日	B	100枚	80,000枚	風波後少ない

試験場所毎の風波前後の収量(生産枚数)比較や風波の影響大小の淡路島東西漁場の収量比較で風波による離脱量を推定。

試験内容

③生理障害による離脱量

【場所】 東播磨漁場

【方法】 ノリ網の張り込み後において、水温が順調に降下せず高水温が続くとノリ葉体に生理障害が見られ、ノリ葉体の葉先が切れて流れる症状が見られる。
そのため、東播磨漁場において、生理障害が少なく伸びている漁場と、生理障害で伸びていない漁場の生産枚数の比較を野帳や聞き取りにより実施する。

試験内容

④病被害による離脱量

【場所】 東播漁場

【方法】 秋芽網後半から冷凍網期間にかけて、壺状菌病によるノリ芽の脱落(流失)が見られる。

そのため、東播磨漁場において、壺状菌病被害の少ない網と多い網の生産枚数の比較を野帳や聞き取りにより実施する。